

1 年前期 国語 評価の内容

知識・技能	・言葉の働き・音節と文字との関係を理解できること。 ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いを知り、使い分けられること。 ・言葉遊びなどを通して語彙を増やせること。 ・平仮名や片仮名の読みを覚え、文章の中で使えること。 ・長音、拗音、促音、撥音などの表記を覚え、正しく書けること。 ・主語と述語との関係を理解していること。 ・助詞を正しく使えること。 ・句読点の打ち方やかぎ（「 」）の使い方を知り、文章の中で正しく使えること。 ・簡単な文、観察記録、日記など、書く文による違いを理解し、それぞれにあった文を書けること。 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読の仕方を工夫できること。 ・姿勢や口形、発声や発音に注意しながら話せること。 ・事柄の順序など情報と情報との関係について理解できること。 ・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体について理解できること。 ・昔話など、我が国の伝統的な言語文化への親しみ、読書の楽しさを感じることができる。 ・正しい筆記具の持ち方で姿勢よく文字を書けること。
思考・判断・表現	・話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いていること。 ・身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選び、相手に伝わるように、話す事柄の順序を考えていること。 ・伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫していること。 ・経験したことや観察したことから書くことを見つけ、伝えたい事柄を明確にしていること。 ・語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫していること。 ・文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしていること。 ・文章の中の重要な語や文を考えて選び出していること。 ・文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっていること。 ・事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えていること。場面の様子や登場人物の行動など、内容を捉えること。場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像していること。 ・いろいろな線や文字を書きながら、筆記具の正しい持ち方を確かめていること。
主体的に学習に取り組む態度	・すすんで友達の話に関心をもち、これまでの経験をいかして話したり答えたりしようとする。また、積極的に友達の話聞き、学習課題に沿って友達と伝え合おうとしていること。 ・正しい姿勢や鉛筆の持ち方で書くことに粘り強く取り組もうとしていること。これまでの学習や経験をいかし、積極的に平仮名や片仮名を読み、書くとともに、言葉の表記を理解して文や文章の中で使い、簡単な文を書こうとしていること。 ・学習課題に沿って、文章の中で大事な言葉を押さえながら粘り強く読み、分かったことを伝えようとしていること。 ・積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの学習をいかして本を選ぼうとしていること。 ・書写学習の見通しをもって、姿勢を正しくしたり、筆記具の正しい持ち方をしたりしようとしていること。

1 年前期 算数 評価の内容

知識・技能	・ 10 までの数の読み方や書き方、数の構成や大小、0 の意味、数を用いた順序や位置の表し方を理解できること。 ・ たし算やひき算の意味、計算の仕方などについて理解できること。 ・ 長さの意味、比べ方などについて理解できること。 ・ ものの個数について簡単な絵や図に表す方法を身に付け、データの個数を絵や図に表し、それらの特徴を読み取れること。 ・ 40 までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方などを理解し、10 をひとまとまりにして数を数えたり、計算をしたりできること。 ・ 何時、何時半の時刻の読み方、時計の短針と長針から時刻を読んだり表したりできること。 ・ 体積の意味、比べ方などについて理解できること。
思考・判断・表現	・ 数の大きさの比べ方や数え方を言葉やブロックなどを用いて表現すること。 ・ 数を用いて順序や位置を表していること。 ・ たし算やひき算の意味に着目し、たし算やひき算の式に表したり、10 までの計算の仕方を習ったことを使って考え、表現したりしていること。 ・ 身の回りにあるものの長さに着目して、数を用いて長さの表し方や比べ方を考えていること。 ・ 身の回りの事柄についてデータの個数に着目し、簡単な図を使って特徴を考えていること。 ・ 10 のまとまりに着目し、40 までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて説明すること。 ・ 20 までの数の繰り上がりや繰り下がりのないたし算やひき算の仕方を考え、言葉やブロックなどで説明すること。 ・ 短針と長針から、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考え、説明すること。 ・ 3 つの数の加法や減法を基にして、3 つの数のたし算やひき算の式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考え説明すること。 ・ 身の回りにある入れ物に入る水の体積に着目して、数を用いて体積の表し方や比べ方を考えていること。
主体的に学習に取り組む態度	・ 数の比べ方や数え方、数を用いた順序や位置の表し方を粘り強く学ぼうとしていること。 ・ たし算やひき算の計算の練習を粘り強く取り組もうとしていること。 ・ 身の回りにあるものの長さに関心をもち、すすんで取り組もうとしていること。 ・ 簡単な絵や図を用いたデータの整理を粘り強く学ぼうとしていること。 ・ 時刻の読み方に関心をもち、すすんで取り組もうとしていること。 ・ 3 つの数のたし算やひき算の練習を粘り強く取り組もうとしていること。 ・ 身の回りにある入れ物に入る水の体積のはかり方に関心をもち、すすんで取り組もうとしていること。

1年前期 生活 評価の内容

知識・技能	・小学校の生活で初めて知ったことを話そうとすること。 ・小学校の生活、決まりやマナーなどについて知り、守ること。 ・授業に取り組むときに大切なことについて、教科書の内容から気付いたことを友達同士で伝え合おうとしていること。 ・学校探検を通して、発見した場所や人、ものやことに興味をもち、見付けたことをまとめ、友達同士で伝え合うこと。 ・アサガオの種のまき方や育て方を知り、育てた草花を飾ったり、特性を生かした遊びを楽しんだりすること。 ・夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くこと。 ・身近な自然に興味をもち、約束を守って友達と遊んだり、いろいろな感覚を使って感じたりして、友達同士で伝え合うこと。
思考・判断・表現	・幼稚園、保育園、こども園と似ていることや違うことなどに気付くこと。 ・小学校の生活の仕方や過ごし方などについて決まりやマナーなどについて友達同士で教え合うこと。 ・小学校の授業の良いところや気を付けたいことについて、自分と友達の考えを比べながら発表していること。 ・学校探検を通して、見付けたことについてカードに絵や言葉で書いて友達と交流し合うこと。 ・アサガオの種やその生長の様子について気付いたり、それをカードに表したりして、友達と交流すること。また、アサガオの特性を生かした活動を考え、色水遊びをして友達同士で作品を紹介し合うこと。 ・夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を全身で感じながら夏の自然を生かした遊びを楽しむこと。 ・身近な自然に対して約束を守って友達と遊んだり諸感覚を使って感じたりしてカードに表して発表すること。
主体的に学習に取り組む態度	・学校の決まりやルールを守って、遊んだり、行動したりすると楽しいことに気付いていること。学校の生活の中で取り組むべきことの大切さに気づき、自分の生活に望もうとしていること。 ・学校の中には保育園や幼稚園にはない場所があることに気付いたり、友達と見付けたことを交流し合う中で学校での生活に生かそうとしたりしていること。また、自分の行ってみたい場所を言うなど、小学校には楽しそうな場所があることに気付いていること。 ・アサガオの世話を継続的に行い、生長の様子や気付いたことをカードに粘り強く記録したり、それについてみんなに話したりしていること。 ・夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしていること。 ・身近な自然について、意欲的に観察し、季節の特徴や楽しみ方を見付けようとしていること。

1 年前期 音楽 評価の内容

知識・技能	・「かたつむり」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付けること。 ・互いの声や伴奏を聴き、拍に合わせて「ぶんぶんぶん」を歌ったりリズム打ちしたりする技能を身に付けていること。 ・「どこどこ」「まほうのど」「どんぐりころりん」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、タンブリンや鈴などの楽器を、音色や響きに気を付けて、演奏できること。 ・「うみ」の曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付き、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けていること。 ・「どれみのうた」の曲想と、音階など音楽の構造との関わりに気付き、「どれみのキャンディー」の最後の部分を階名で模唱したり暗唱したり、音高に合わせて体を動かしたりする技能を身に付けていること。 ・「ゴーアンドストップ」などの鑑賞曲の雰囲気を感じ取りながら、曲の変化を感じ取りながら、旋律との関わりについて気付けること。 ・互いの声や伴奏を聴き、拍に合わせて歌ったりリズム打ちしたりする技能を身に付けていること。
思考・判断・表現	・「かたつむり」「ぶんぶんぶん」「うみ」「どれみのうた」などの曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いをもつこと。 ・いろいろな曲を使った音遊びを通して音楽づくりの発想をもち、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもつこと。 ・「ゴーアンドストップ」などの鑑賞曲について知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見出し、曲全体を味わって聴いていること。
主体的に学習に取り組む態度	・楽しみながら音楽表現活動や鑑賞をしようとしていること。 ・できるようになるために考えたり、何回も練習したりして学習活動に取り組んでいること。 ・友達と協力して学習活動をしようとしていること。 ・いろいろな歌声を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組むこと。 ・いろいろな拍子の音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組むこと。 ・高音の響きやカスタネット、鈴、タンブリン、トライアングルなどの楽器による表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組むこと。 ・すすんで音楽に関わり、共に学びながら音楽活動をする楽しさを感じる。 ・様々な音楽に親しむとともに、授業での経験を生かして生活を明るく豊かなものにしようとする。

知識・技能	・好きなものを思い浮かべながらかくときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付いていること。 ・表したいことに合わせて材料（画用紙、粘土、ビニール素材、段ボールなど）や用具（絵の具、クレヨン・クレパス、ペン、木工用接着剤など）を適切に扱うことができること。 ・材料や用具についての経験を生かし、手や体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫してつくることができること。 ・絵や立体に表す活動を通して、形や色、組み合わせの印象を捉えることができること。 ・造形遊びの活動を通して、材料に関わりながら、材料を組み合わせたり切ってつないだり、形をかえたりするなどして、工夫してつくることができること。
思考・判断・表現	・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことなどの自分のイメージを基に、表したいことを見付けること。 ・絵や立体、工作に表す活動を通して、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながらどのように表すか考えること。 ・造形あそびの活動を通して、表したいことを見付け、好きな形を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかを考えること。 ・自分たちの作品や、身近な美術作品などの面白さやいろいろな表し方について、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。
主体的に学習に取り組む態度	・つくりだす喜びを味わいながら、すすんで形や色で表す活動に取り組もうとしていること。 ・つくりだす喜びを味わいながら、楽しく粘土を使って思い付いた形を表す学習活動に取り組もうとしていること。 ・表現したり鑑賞したりすることが一体になりながら楽しく活動しようとしていること。 ・すすんで作品を作ったり、見たりすることに喜びを感じていること。 ・形や色を視点に、比べたり、選んだり、作りだしたりして、夢や願いをもって粘り強く取り組もうとしていること。 ・主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組むこと。

1 年前期 体育 評価の内容

知識・技能	・体づくり運動では、姿勢や方向を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つなどの運動ができること。 ・固定施設や器械・器具を使った運動では、ぶら下がったり、登ったり、振ったり、跳び上がったリ、跳び下りたりして、自分の体をいろいろ動かせること。 ・かけっこやリレー遊びでは、いろいろな走り出しの姿勢から、素早く走り始めたり、真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ったりできること。 ・ボール遊びでは、ボールを遠くに投げたり、強く転がしたりできること。ねらったところにボールを投げられること。 ・表現・リズム遊びでは、いろいろな動物の特徴を簡単なポーズと動きで表現し、動物にふさわしいお話をつくって、友達と一緒に動けること。 ・鬼遊びでは、追いかけたり、すばやく方向を変えたりして、相手にタッチできること。 ・鉄棒遊びでは、鉄棒を使って振ったり、回ったり、支持して跳び上がったリ、跳び下りたりできること。
思考・判断・表現	・体づくり運動では、体をほぐしたり多様な動きを作ったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えていること。 ・固定施設や器械・器具を使った運動では、いろいろな運動遊びの行い方を知り、楽しく遊ぶことができる場や遊び方を選んでいること。 ・かけっこやリレー遊びでは、ジグザグかけっこのコースの走り方を知り、折り返しリレーの往復のコースの走り方、折り返し方、引き継ぎ方を知っていること。 ・ボール遊びでは、ねらったところに当たるように、ボールの投げ方を工夫し、考えたことを友達に伝えていること。 ・表現・リズム遊びでは、動物の特徴を簡単なポーズと動きで表現し工夫するとともに、考えたことを友達に伝えていること。 ・鬼遊びでは、いろいろな鬼遊びのしかたを知り、楽しくできるように遊び方を工夫していること。 ・鉄棒遊びでは、いろいろな鉄棒遊びの遊び方を知り、自分の力に合った遊びや、遊びに合った場（鉄棒の高さ）を選んでいること。また、いろいろな鉄棒遊びの遊び方を工夫していること。
主体的に学習に取り組む態度	・運動遊びにすすんで取り組もうとすること。 ・決まりを守って、誰とでも仲よく運動遊びをしようとする事。 ・場の安全や約束を確かめ、守ろうとすること。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとする事。 ・用具を準備したり場の安全を確かめたりすること。 ・勝敗を受け入れていること。 ・できるようになるために考えたり、何回も練習したりして学習活動に取り組んでいること。